

県総合運動公園及び県武道館の管理運営手法について

1 富山県総合運動公園管理運営手法調査検討業務

- (1) 実施主体：(株) 日本経済研究所
(2) 調査期間：令和6年5月～令和7年2月
(3) 調査目的：富山県武道館（令和9年度開館予定）の整備を契機として、富山県総合運動公園の魅力向上のため、民間事業者を主体とする、県武道館を含めた県総合運動公園の最適な管理手法を調査
(4) 評価結果：現行の指定管理（原則3年間、個別管理）と比較した主な3パターン
[前提条件]大規模な施設整備を伴わない管理運営(武道館は県が施設整備)

スキーム		① 指定管理(長期化)	② PFI-O方式※	③ Park-PFI※
運営方法・期間		一体運営・5年間	一体運営・10年間	一体運営・20年間
定性評価		・一体運営、運営期間の長期化でサービス向上の可能性あり	・中長期を見据えた事業によりサービス向上が期待される	・長期を見据えた事業によりサービス向上が期待される ・事業の自由度大きい
定量評価	概算事業費 (20年間)	8,126 百万円	8,339 百万円	7,895 百万円 民間収益施設収支▲96 百万円
	内 容	・一体運営によるコスト削減 (財政負担縮減：中)	・コスト縮減・収入増加が期待されるが PFI 法に基づく手続きコスト増 (財政負担縮減：小)	・最もコスト縮減・収入増加が期待できる (財政負担縮減：大) ・民間収益施設の収支は赤字の見込み
事業者ヒアリングを踏まえた総合評価		・従来よりもサービス向上・費用縮減が期待される ・施設規模が大きく、事業者のノウハウ発揮には、より長期の運営期間が望ましい	・サービス向上・費用縮減がある程度期待される ・事業性に比して応募手続きコストが大きく、立地条件等から採算性を懸念	・最もサービス向上・費用縮減が期待される ・民間収益施設について立地条件等から採算性を懸念

※：②PFI-O（Operate）方式…PFI 法に基づき民間事業者に施設の管理運営等を性能発注で委託（武道館は県が施設整備を行うため管理運営のみ委託）

※：③Park-PFI…都市公園法に基づき民間投資による独立採算が可能な収益施設を設置可能

※：②PFI-O方式と③Park-PFI は、施設の管理運営事務に指定管理者制度を併用

2 今後の方向性

- ・「指定管理者制度」により県総合運動公園と県武道館を一体運営することとし、更なるサービス向上を図るため管理運営期間については長期化（5年程度）
- ・民間事業者の参入促進や、公園の更なる魅力向上や県民サービス向上を図る方策（提案）を公募要件に盛り込むことを検討（指定管理者制度の運用面での工夫）
- ・なお、令和7年度に民間参入の前提となる事業の市場性・採算性等を調査する社会実験（トライアルサウンディング）を実施し、その結果も公募要件に反映

3 想定スケジュール

- 令和7年度： 社会実験（トライアルサウンディング）の実施
県武道館の建設工事開始
令和8年度： 管理運営者の公募・選定
令和9年度： 新たな管理運営期間の開始、県武道館開館準備
県武道館開館

県総合運動公園の管理運営手法



富山県総合運動公園管理運営手法調査検討業務

- ◆ 調査期間：R6年5月～R7年2月
- ◆ 実施機関：(株)日本経済研究所
- ◆ 調査目的：富山県武道館（令和9年度開館予定）の整備を契機として、富山県総合運動公園の魅力向上のため、民間事業者を主体とする、県武道館を含めた県総合運動公園の最適な管理手法を調査



◆ 調査手法

① 関係者ヒアリング(R6.6月)

19団体 { 行政(県、富山市)
指定管理者、施設管理運営者
利用団体、近隣住民・自治会

② 県民アンケート(R6.7～8月)

県政モニター：196名 回収数：146名

③ 先進事例調査

全国17都市公園等の特徴的な管理運営手法を調査

➤ 県総・周辺エリアの課題・ポテンシャルを整理

◆ 将来像(ビジョン)

県総合運動公園

1. ウェルビーイングが向上する公園

訪れる一人ひとりが自分らしく幸せに生きるための活動ができる公園

2. 武道の発展を実現する武道館のある公園

武道団体の活動に間近で触れる機会を提供

3. とやま愛が育める公園

とやまらしさを体感できる場所として整備することで、とやま愛の醸成に貢献

県周辺エリア

1. 周辺施設が一体感をもったエリア

各施設の連携で、エリアとしての一体感を醸成

2. 県内外からひとが訪れるエリア

立地を活かし、エリア一体の施設を活用した大会誘致等を実施

- 将来像の実現に向け、
最適な管理運営手法を検討



◆ 調査手法

④ 事業者アンケート・ヒアリング（R6.7～9月）

- ・体育施設のPFI事業・指定管理事業経験者：10社
- ・Jリーグチーム：1社
- ・その他：2社
- ・飲食・物販事業者：7社

- 将来像を踏まえた**事業コンセプト**（県武道館新設の相乗効果、パークマネジメント導入、カターレ富山との連携等）、**事業スキーム**について調査
- **事業スキーム毎に比較検討・評価**

◆ 調査結果（事業スキームの評価）

スキーム	指定管理者	PFI-〇方式	Park-PFI
運営方法	一体・5年間	一体・10年間	一体・20年間
定性評価	一体運営でサービス向上	中長期事業でサービス向上	長期・自由度大でサービス向上
概 算※ 事業費	8,126百万円	8,339百万円	7,895百万円 <u>民間収益施設</u> <u>収支▲96百万円</u>
定量評価	コスト削減 財政負担縮減：中	収入増加 財政負担縮減：小	財政負担縮減：大 <u>民間収支赤字</u>

※事業期間20年間で試算

◆ 調査結果（事業スキームの評価）

スキーム	指定管理者	PFI-〇方式	Park-PFI
運営方法	一体・5年間	一体・10年間	一体・20年間
総合評価	・サービス向上 ・費用縮減 ・従来より長い運営期間必要	・サービス向上 ・応募コスト、<u>立地条件から採算性に懸念</u>	・<u>最も理想的立地条件から採算性に懸念</u>

管理運営手法の県の方向性

- 県総+県武道館の一体的な指定管理（5年程度）
- 魅力・サービス向上、民間事業者参入の促進を工夫

◆ 今後の課題と想定されるスケジュール

- カターレ富山との連携
- 周辺エリアの連携・一体的管理の仕組みの検討
- 実証事業の検討
- 民間事業者への情報提供

→ トライアルサウンディング
(市場性・採算性等調査)

R7	トライアルサウンディングの実施 県武道館の建設工事開始
R8	管理運営者の公募・選定
R9	新たな管理運営期間の開始、開館準備 県武道館開館